

中央小学校だより

平成30年 7月 20日 中央小学校 学校通信



さあ夏休みだ！

今年は梅雨明けが早く、猛暑日が続きましたが、子どもたちは本当によく頑張りました。

いよいよ長期にわたるお休みに入ります。学校としましては子どもたち、一人ひとりが健康に、事件や事故に巻き込まれることなく、楽しい夏休みを過ごしてほしいと祈るばかりです。

保護者や地域の皆様、1学期は本校の教育活動にご協力をいただき、また、子どもたちを見守り励ましていただき、ありがとうございました。2学期も何かとお世話になるとおもいますがどうぞよろしくお願いします。

さて、今年の夏休みはこどもたちに「1学期で学んだこと・できるようになったこと」を家庭で「活かす」ことを実行してほしいと思います。

◎書けるようになった文字や漢字を使って作文を書く。

◎算数で学んだ基礎を活かして難しい問題にチャレンジする。

◎身近な自然の中で興味を持ったことについて、もっと調べてみる。

◎知り合いになった地域の方やお店の方、博物館の方にもっと詳しいお話をきく。

◎セミやトンボの羽化をずっと観察する。

◎泳げるようになった距離を伸ばす。

◎エコたわしを使ってどんなものがきれいになるのかいろいろ試してみる。

取り組みそうなことはたくさんありますね。家族で話し合ってみてもよいでしょう。

2学期になったら、「1学期で学んだことを活かして、こんなことをしたよ！」という話をたくさん聞けたらいいなと思っています。

命を守る学習

4～6年 着衣水泳

7月10日に海上保安部の方4名に来ていただき、着衣水泳の体験を行いました。「私たちは海の警察の仕事と、救急隊の仕事をしています」というごあいさつをしていただいた後、さっそく子どもたち服を着たままプールへ。そして服を着たままだととても泳ぎにくいということや、大変疲れるということを体験しました。疲れて体力がなくなると沈んでしまいます。それではどうするか。力を抜いて仰向けに浮くことを指導していただきましたが、それでも服を着ているとなかなか浮きにくいので、用意してきた空のペットボトルを胸に抱いて仰向けで浮くことを体験しました。静かに浮いている間に救助を待つということです。ペットボトル一つで命拾いをするのですね。夏休み中は水の事故には十分気を付けてくださいね。

